

履 歴 書

正二位大勳位公爵

西園寺公望

嘉永二年十月生

族 籍 神奈川縣華族

正三位

慶應 三一 二〇

參與職被仰付候事

元 一、 四

山陰道鎮撫總督被仰付候事

三、 〇

任中納言

四、 一 九

但州府中裁判所總督被仰出候事

四、 五

但山陰道裁判所兼帶ノ事

四、 五

東山道第二軍總督被仰出候事

徳川慶喜及伏罪候處會津其外殘黨ノ者益逞野心所

々亂行人民安堵ノ恩ヲ不爲ノ趣達睿聽被惱宸襟候

依テ第二軍總督被仰付候條抽丹誠速ニ殘賊掃撃可

奉安宸襟被仰出候事

三

但總督副總督篤ト遂軍議時機ニ依リ東海東山二

道ニ立別レ進軍可致候事

明治 元 四、 二 三

北國鎮撫使被仰付候間早々發向可致様御沙汰候事

四、 二 四

三等 陸軍將被仰出候事

六、 一 四

北陸道鎮撫使被免此度仁和寺宮爲會津征伐越後口

へ出馬ニ付參謀被仰付候事

六、 二 〇

越後口大參謀被仰付候事

一、 〇、 二 八

新潟府知事被仰付候事 三等陸軍將 如故

二、 一、 二 四

新潟府知事被仰付置候通早々彼地へ罷下リ府政取

計可有之旨重テ御沙汰候事

二、 二、 二

廢新潟府置新潟縣

三、 一、 五

依願三等陸軍將被免候事

六、 二、 二

戊辰ノ春山陰總督トシテ出馬續テ北越督府ニ參議

シ日夜勉勵兵氣ヲ鼓舞シ職掌ヲ遂ケ候段叡感不淺

依テ爲其賞三百石下賜候事

高三百石

右依軍功永世下賜候事

勤學中官位辭表被聞食候事

佛蘭西國勤學被仰付候事

特旨ヲ以テ正三位ニ被復候事

版朝

任參事院議官補

四等官相當月俸二百五十圓下賜候事

函館縣外二縣管轄區畫並縣廳位置ノ儀元老院議定

ニ被付候ニ付内閣委員被仰付候事

參議伊藤博文歐州へ被差遣候ニ付隨行被仰付候事

敘勳三等

薩克遜滄馬耳國大公殿下ヨリ贈與シタル白鷹第二

等勳章ヲ受領シ及ヒ佩用スルヲ允許ス

版朝

一六八四

明治一六 九一八

參議伊藤博文御用有之福島縣下へ出張被仰付候ニ

付隨行被仰付候事

一二二四

任參事院議官

三等官相當年俸三千五百圓下賜候事

船積量測度規則制定ノ件布告案元老院議定ニ被

付候ニ付内閣委員被仰付候事

五八

法制部勤務被仰付候事

絶家期限制定ノ件布告案元老院議定ニ被付候ニ付

五三

内閣委員被仰付候事

授侯爵

七七

輕罪ノ控訴實施ノ件布告按元老院議定ニ被付候ニ

付内閣委員被仰付候事

一二二四

任特命全權公使

二等官相當二等年俸下賜候事

一八二一四

澳國維也納府在勤被仰付候事

一九 三一六 改交除官々副初任一等トス

八 六 法律取調委員被仰付

二〇 六 四 英國維也納府在勤或免獨逸國伯林府在勤被仰付

六 二 八 白耳義國公使兼勳被仰付

六 二 〇 臨時特命全權公使トシテ羅馬法王宮へ被差遣

二二 三 一 三 特派大使トシテ獨逸國皇帝ギーヨーム第一世葬儀參
會被仰付

三 二 五 羅馬法王陛下ヨリ贈與シタルガランクロアドロルド
ルボンテイフヒカールビーノフ勳章ヲ受領シ及ヒ以
用スルヲ允許ス

五 九 澳地利國兼洪島利國皇帝陛下ヨリ贈與シタル鐵冠帶
一等勳章ヲ受領シ及ヒ以用スルヲ允許ス

五 二 九 叙勳二等

六 一 八 特派大使トシテ獨逸國皇帝フリードリッヒ第三世葬
儀參會被仰付

明治二二 一 一 三 〇 和蘭皇帝御葬送ノ節特派公使トシテ曾葬被仰付
二 四 三 三 一 定公使兼領事館費用條列
三 一 六 荷蘭國皇帝陛下ノ名ヲ以テ攝政皇太后陛下ヨリ贈與シタル「ゴロー
ト、コロイス、デル、オルデ、ファンデン、ネーデル、ランドセン
レーウ」勳章ヲ受領シ及ヒ以用スルヲ允許ス

八 二 一 歸朝
九 四 任賞勳局總裁 年俸四千圓
一 〇 一 五 獨逸國皇帝陛下ヨリ贈與シタル赤馬第一等勳章ヲ受
領シ及ヒ以用スルヲ允許ス

二 五 七 五 白耳義國皇帝陛下ヨリ贈與シタル「グラン、コルドンド、コルドル、
ド、レオポール」勳章ヲ受領シ及ヒ以用スルヲ允許ス

二 六 四 一 三 法典調査會副總裁被仰付
一 一 一 三 貴族院令第十一條ニ依リ貴族院副議長ニ任ス

二 七 三 一 一 叙從二位
二 七 三 八 土耳其國皇帝陛下ヨリ贈與シタル美治慈惠第一等勳章ヲ受領シ及ヒ
以用スルヲ允許ス

二 七 三 八 土耳其國皇帝陛下ヨリ贈與シタル美治慈惠第一等勳章ヲ受領シ及ヒ
以用スルヲ允許ス

二七 五一〇 任權密顧問員

兼任實勳局總裁

敘高等官一等

五一一 願ニ依リ貴族院副議長ヲ免ス

八二〇 御用有之朝鮮國へ被差遣

九二〇 歸朝

一〇三 任文部大臣

二七一〇、二七 埼玉、群馬、千葉、茨城、栃木五縣下學事巡視ノ

儀奏請ノ通聞食サレタリ

二八 六五 外務大臣臨時代理被仰付

六二一 敘勳一等賜瑞寶章

二九 三六 伊太利國皇帝陛下ヨリ贈與シタル「サンモーリス、エ、ラザル」第

一等勳章ヲ受領シ及ヒ佩用スルヲ允許ス

三一七 露西亞國皇帝陛下ヨリ贈與シタル白鷺大綬章ヲ受領

シ及ヒ佩用スルヲ允許ス

明治二九

四三 外務大臣臨時代理被免

四一四 議内、中國及四國地方學事巡視トシテ出張ノ儀上奏

ノ通聞食サレタリ

五三〇 兼任外務大臣

六五 授旭日大綬章

七二四 法蘭西共和國政府ヨリ贈與シタル「レジョンドノール」第二等勳章

ヲ受領シ及ヒ佩用スルヲ允許ス

九二二 免兼官

九二八 依願免本官

一一五 依願法典調査會副總裁被免

一一〇 西班牙國皇帝陛下ヨリ贈與シタル「シヤルトルワー」第一勳章ヲ

受領シ及ヒ佩用スルヲ允許ス

三一 一一二 任文部大臣

一一一 法典調査會副總裁被仰付

一一〇 丁抹國皇帝陛下ヨリ贈與シタルグランクロワー、ド、ロルドル、チ

明治三一、三三〇

ユ、ダネアプロツク勳章ヲ受領シ及ヒ佩用スルヲ允許ス

四三〇 依願免本官

依願法典調査會副總裁被免

六二九

法典調査會副總裁ノ職ヲ奉シ勳勞不尠ニ付金盃一組ヲ賜フ

一二、二〇

敘正二位

三三、一〇、二七

任樞密院議長

特ニ内閣ニ列セラル

奉 勅

内閣總理大臣臨時代理被仰付

一二、一二

内閣總理大臣臨時代理被免

三四、五二

内閣總理大臣臨時代理被仰付

五、一〇

臨時兼任内閣總理大臣

五、一四

臨時兼任大藏大臣

六、二

免兼官内閣總理大臣兼大藏大臣

三六、七、一三

依願免本官

明治三九、一、七

特ニ前官ノ禮遇ヲ賜フ

任内閣總理大臣

三、三

臨時兼任文部大臣

三、三

臨時兼任外務大臣

大不列顛「ナイト」、グラント、クロス、オヴ、セント、マイケル、

エンド、セント、ジョージ勳章受領及ヒ佩用允許

三、二七

免兼文部大臣

四、一三

滿洲へ出張ノ件奏請ノ通被聞食

五

歸 朝

五、一九

免兼官

八、三〇

臨時兼任外務大臣

九、一八

免兼官

四〇、九、一四

授旭日桐花大綬章

一〇、二、三

佛蘭西國「グラン、クロア、ド、ロルドルナシオナル、ド、ラ、レジオンドノール」勳章ヲ受領シ及ヒ佩用スルヲ允許セラル

四〇、一〇、三〇

露西亞國神聖「アレキサンドル、ネフスキー」大
授章ヲ受領及ヒ佩用允許

一三、一七

清國皇帝陛下ヨリ贈與シタル頃等第二雙龍寶星ヲ
受領シ及ヒ佩用スルヲ允許セラル

四一、七一四

依願免本官

特ニ前官ノ禮遇ヲ賜フ

四二、七二一

鐵道國有ニ關シ功勞不尠ニ付金杯一組ヲ賜フ

四四、八二一

勅許ヲ經テ恩賜財團濟生會顧問ヲ囑託ス

八三〇

任内閣總理大臣

一三、九

臨時制度整理局總裁

大正 元 七

勅 語

先帝崩御之處從前之通盡力セヨ

八一三

勅 語

朕新ニ大統ヲ繼キ内外多事ノ日ニ方リ夙夜憂慮先
帝ノ遺業ヲ續クセサラムコトヲ思フ宮中府中宜シ

大正 元 一三 六

一三、二一

依願免本官

特ニ前官ノ禮遇ヲ賜フ

勅 語

朕大統ヲ承ケシヨリ日尚淺シ卿多年先帝ニ奉事シ
テ親ク聖旨ヲ受ク將來匡輔ニ須ツモノ多シ寧ク朕
意ヲ體シテ克ク其ノ力ヲ致シ贊襄スル所アルヘシ

元 八 一

三 六一〇

舊堂上華族保護資金調査委員被仰付

六一八

第一回帝國議會以來議員ノ職ニ在リ其功勞カラス
依テ金杯壹組ヲ賜フ

一三、一

臨時編修局顧問被仰付

四一、一〇

大正紀念章授與

七 一、一 七十歳ノ高命ニ付御紋付銀杯並ニ酒肴料ヲ下賜セラレタリ

七 一、二、一 敍大勳位授簡化大綬章

一、二、二、四 歐洲へ出張被仰付

一、二、二、七 帝室經濟顧問被仰付

八 一、一、三 講和全權委員被仰付

六、一、四 除服出仕被仰付

八、二、七 御沙汰

變ニ與國ノ對獨講和會議ヲ佛國ニ開キシヤ

朕御ニ委スルニ全權ヲ以テシ任キテ協商ノ事ニ當

ラシム今復命スル所ヲ聽キテ其ノ要領ヲ得御外ニ

在リシコト累月苦心焦慮尊姐ノ間ニ折衝シテ克ク

任務ヲ了ヘタリ朕御力勞ヲ多トシテ深ク其ノ節ヲ

嘉ス

依勳功特陞授公爵

九 九 七

昭和 元一、二、二八 勅語

朕新ニ大統ヲ承ケ先朝ノ遺業ヲ紹述セントス卿三

朝ニ應事シ屢機要ヲ司ル勳勞殊ニ顯ハレ倚重最隆

ナリ卿其レ先朝ニ效セシ所ヲ以テ

朕力躬ヲ匡輔シ朕力事ヲ勵成セヨ

老年ニ付特旨ヲ以テ宮中杖ヲ差許サレタリ

八十歳ノ高命ニ付御紋付銀盃並ニ酒肴料下賜セラ

レタリ

授菊花章頸飾

金杯一箇ヲ賜フ

昭和八年皇室令第四號ニ依リ臨時帝室編修官官制

廢止

公刊明治天皇御紀編修委員會顧問被仰付

金杯壹組ヲ賜フ 昭和六年乃至九年事變ノ功

九 七 一 四、二、九

八 九 三、〇

一、一、一、〇

三 一、一、六

裏面白紙

株式会社住友本社
東京支店長
北澤敬二
進
東京市東区北千代二丁目二番地二
電話九ノ内三三二二一―九

東京市中野區錦町三十五番地
電話中野(38)三〇一三番

北澤敬二
敬
牛込五七五七

伊藤元
住友本社
東京市東区北千代五丁目
電話九ノ内三三二二一―九

内閣

日本標準規格B5 十四行罫

裏面白紙

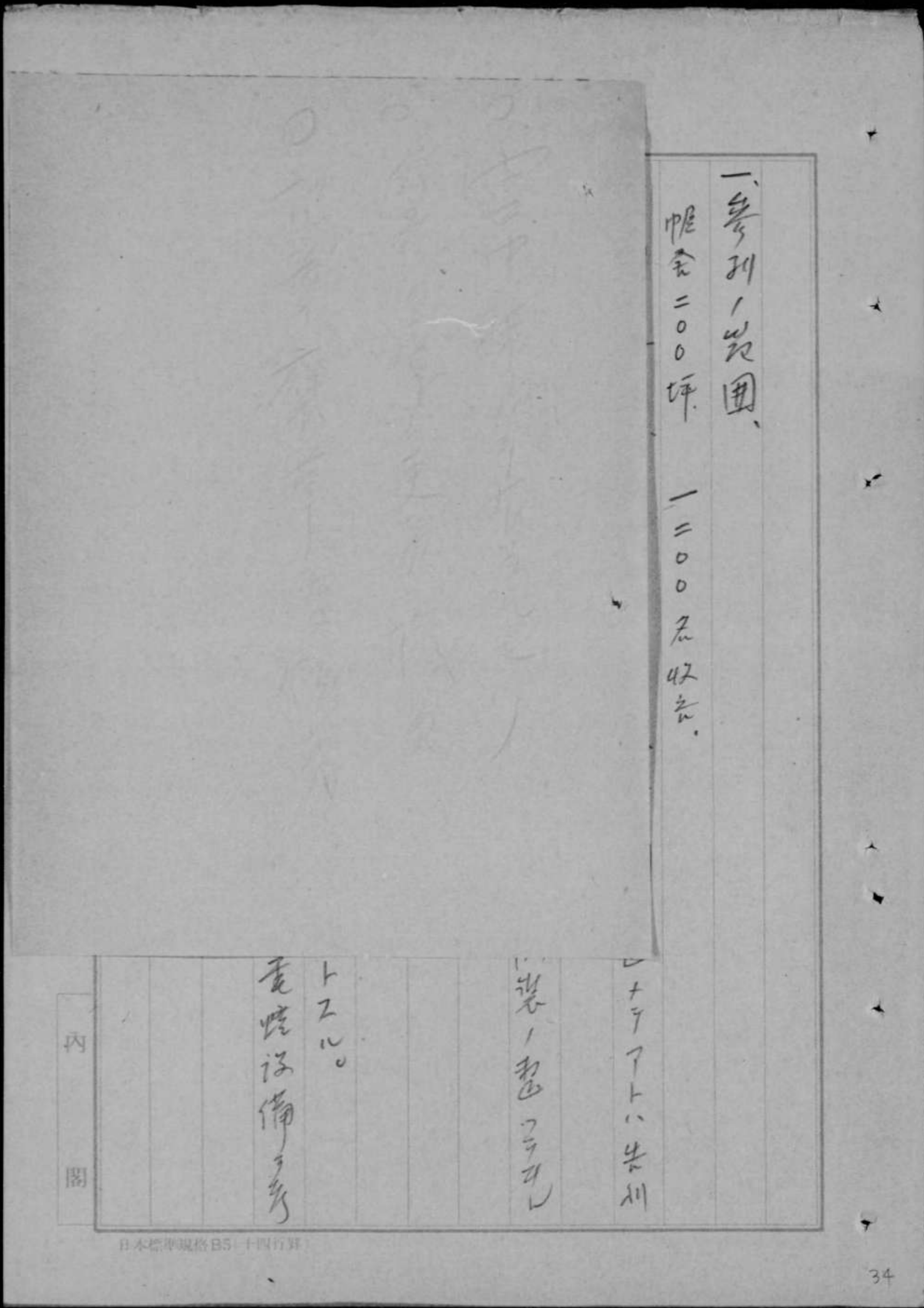
株式会社住友
東京支店長
北澤
謹
啓

北澤敬二郎
牛込五七五七

伊藤元
助先 大塚市東區北嶺五丁目
住宅 友本社
自宅 兵衛町四丁目字上山一六四三

内閣

日本標準規格B5(十四行算)



一、参列ノ範圍、
帳全二〇〇坪。

一三〇〇名収容。

ト ア ト ハ 牛 川	一 巻 ノ 巻 コ ラ カ レ	ト エ ル。	電 燈 設 備 ナ ク	
----------------------------	--------------------------------------	--------------	----------------------------	--

内閣

日本標準規格 B5 十四行算

原本不明瞭

裏面白紙

裏面白紙

一、参加ノ範圍、

税金ニ〇〇坪 一ニ〇〇名収容

参加ハ五一号以上及特別協賛者外多團ニ止テアトハ告知式トスル

告知式ニ二程ニスル。二以内トシテ前年ハ服装ノ整ヲヲカシテ、後者ハ一般ノ人

一、葬場、

前同ト違ニ依リ、公会堂ヲ借座テテ休所トスル。

目的短イヨリ五回年以ニスル。延テ墓所ノ電燈設備ヲ考ヘル必要アリシ。(墓所別者ニ以テ十分)

内閣

裏面白紙

一、升相下舟

一、御通夜

二十九日早う南始

表お可るんや帝トるん之別ニ候や江アアア

三日えん 十日祭

四日えん 賜んい候

四日夜 重化去是候

一言 五五日祭

一、儀紋

新島工除物、一神物、一符

御幣二但右取 右右左

御幣右

丙 關

一、靈柩出迎ニ關スル件

1、東京驛

2、外相官邸

3、途中マデ出迎

東京驛がヤフクモ

一、靈柩外相官邸到着後ニ於ケル事務開始ニ關スル件

一、御遺夜ニ關スル件

一、國葬事務取扱期限ニ關スル件

裏面白紙